

士別！くらしねっと情報第 496 号

交通安全情報 112 (令和6年 12月 17日号)

令和6年も残り少なくなってきました。

12月24日から市内小中学校は冬休みに入ります。子ども達の活動もそれぞれとなり、普段なら見られない時間帯や場所で行動しているかもしれません。

交差点や車道と歩道の境が雪山で見通しが悪くなっていますので、ドライバーの皆様は子ども達の動きに注意をお願いします。

また、年末年始は、飲酒の機会が増える時期です。自分自身が飲酒運転をしないことはもちろんですが、周りの人にも飲酒運転をさせない意識が大切です。**「飲酒運転しない。させない。許さない。そして見逃さない」**を合言葉に、飲食店でお酒を飲むときは、代行運転やハンドルキーパーを決めるなどしましょう。



身に付けましょう「最低でも夜光反射材！そしてライト」

夕暮れ夜間の歩行者の安全は、**自分の存在をいち早く相手に知らせる**ことです。

その為には、夜光反射材が効果的と言われています。

夜間、ドライバー（ライトは下向きと仮定）から確認できる距離は、黒っぽい服装なら約26m、明るい服装でも約38mまで近づかないと気づくことができないと言われています。車が約50km/hで走行中、歩行者を発見してから停止するまでの距離が約32mと言われています。これは路面が乾いている場合であって、雨などで路面が濡れている場合は、1.5倍かかります。凍結路面だと急ブレーキをかけてもスリップして止まれないこともあります。

夜光反射材は、約57m（大きさや素材にもよりますが）離れていても「何かある」と気づくことができると言われています。もっと効果的なのが、**ライト**の使用です。夜光反射材（再帰反射）と違って、自ら発光している為、横でも後でも確認することができます。

最近、バッグにつけている方や愛犬の散歩時に首輪やリードにつけている方を見るようになりました。ドライバーだけでなく、自転車や歩行者からも認知しやすいです。

士別市役所くらし安全課内 士別市交通安全運動推進委員会事務局
士別市東6条4丁目 電話：26-7736

